

平成25年度当初予算成立

活力・元気

未来につながる
暮らし向上予算

予算編成にあたって

平成二十五年度予算は、第二次行政改革大綱と総合振興計画を踏まえて、基本計画に掲げられた重点施策を着実に推進するほか、中期財政計画で示した「平成二十五年度以降の主な建設事業」への効果的な財源配分や効果的な事業の構築を進め、限られた財源の中で最大の行政効果があがるよう、町域の均衡ある発展と町民福祉の向上につながる予算編成を行っております。

また、歳出の徹底した見直しによる行政コストの削減と健全財政を堅持しつつ、直面する課題や多様な住民ニーズに的確に取り組むものとしております。

暮らしの質と幸福度を高め 魅力を増すために

町をとりまく情勢は、年々多様化しており、引き続き町民の生活を守り、調和の取れた魅力と活力のあるまちづくりを進め

ていくためには、既存の政策を充実させ、暮らしの質を高める新たな政策も視野に入れた、まちづくりを進めていかななくてはなりません。

は、主な政策としまして五十一件の新規事業、十七件の拡充事業（継続事業含む）に重点配分したところであります。

このような考え方のもと、平成二十五年度当初予算では、これまで「道路網の整備」「個性と能力を伸ばす教育力の向上政策」「子育て家庭や未来の子ども応援の充実」「地域が主体となり取り組む元気づくりへの支援（地域福祉の充実）」「誘客を目指した観光振興」「防災行政無線整備と自主防災組織による消防防災力の強化」「若い世代が住みたくなるまち（定住促進）」「地域の独自性のある環境政策」を推進しているところ

元気な町にするため、安心と住みやすさが実感できる生活環境づくりや、暮らしの質を高める幸福度の高い政策をはじめ、様々な事業に積極的に取り組んでまいります。

財源の有効利用と 財政健全化を

でありませんが、更に、これらの政策を充実させ、住みやすさを実感できる、暮らしの質を高める幸福度の高い、本町の魅力を増すため「えいへいじ魅力向上政策」に取り組む予算編成をしたところであります。その結果、平成二十五年度当初予算で

町では、これまでの行財政改革の取り組みの柱とする「永平寺町集中改革プラン」に加え、財政基盤強化並びに財政収支の均衡を図るための取り組みを示した「中期財政計画」を踏まえた事業展開を行い、歳入の確保と歳出のバランスを考慮し、健全財政に努めています。特に、臨時財政対策債や交付税参入率の高い合併特例債の発行など国の財政措置のある有利な地方債を活用し公債費負担の軽減を図ります。

町長所信表明

二月二十六日に開会された定例町議会の冒頭に、町政の諸課題および平成二十五年度当初予算案など重要施策について、松本町長が次のように所信を述べました。



政策を述べる松本町長

た、第二次安倍内閣による予算編成が本格化しております。政府は、一月十一日に日本経済再生に向けた緊急経済対策を閣議決定し、その政策を実行するための総額十三兆一千五百四十四億円の補正予算が衆議院で可決され、現在、参議院での審議が進められております。

地域の活性化に

「地域の元気臨時交付金」を

緊急経済対策では、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略という「三本の矢」で「田高・テフレから脱却し、雇用や所得の拡大を目指す」としております。具体的施策として掲げた重点分野は、復興・防災対策、民間投資の喚起や中小企業対策、暮らしの安心・地域活性化の三つであり、

復興・防災では、震災からの復興を加速させ、事前防災と減災を進め、昨年十二月に中央自動車道で発生したトンネル事故を踏まえ、老朽化したトンネル、橋梁や河川、道路などの総点検と補修などが盛り込まれております。

また、住宅、学校等の耐震改修や、中小企業、農林業対策、省エネと再生エネルギーの促進、地域活性化などに積極的に取り組むとしております。

本町におきましても、今回の緊急経済対策で特別に措置された、「地域の元気臨時交付金」を活用した事



学校校舎の耐震補強工事

業に取り組むこととしております。国の新年度予算案は、政権交代の影響で編成作業が遅れておりますが、一月二十九日に一般会計総額を九十二兆六千億円とすることが閣議決定され、近く国会提出されることとなっております。

前政権が始めた農家に対する「戸別所得補償制度」は大幅な変更はなく、「経営所得安定対策」に名称が変わり、地方への「一括交付金」は廃止が決まり、各省庁が所管する交付金などに移行することとなっておりますが、地方の主體的・積極的な取り組みを支えるための十分な地方財源を確保するよう、強く願っております。

また、地方公務員給与の取り扱いについて、「国と地方が一丸となって行政改革を進める姿勢を示すため、国家公務員の給与減額措置に準じた措置を講ずるよう」強く求められております。地方においては、これまで職員の定数削減など国以上に改革に取り組んできており、人件費削減を前提とした地方交付税の減額は、是非とも避けていただきたいと考えております。

今年の冬は例年になく雪が少ないと安心しておりましたが、雪の降る日が続いており、三月を間近に控え、春の足音が聞こえはじめた今日この頃ではありますが、まだ寒い日が続いております。

さて、昨年十二月に行われた衆議院選での政権交代を経て発足し

本町の魅力を増すために 様々な事業を

それでは、初めに町政推進の基本的な考え方や、現在の重要課題、取り組み等について申し上げます。

永平寺町は合併いたしましたので、八年目を迎えました。これまで、どの地域もよくなり、質の高いサービスを受けていただくことができるよう、また、三つの地域の特徴を生かした均衡ある発展と、全ての町民が幸せを実感できるまちづくりに取り組んでまいりました。

中部縦貫自動車道の整備をはじめとする「道路網の整備」、町の基幹産業である「農業の振興」と「工業の活性化」に全力で取り組んできたところでもあります。

また、特に、地域の宝である子供たちが健やかに成長することができるよう「個性と能力を伸ばす教育力の向上と教育環境の整備」、若い世代が安心して産み育てることができ「子育て家庭や未来の子どもも応援の充実」、高齢者や障害を持つ方々が元気で活躍できるよう「地域が主体となり取り組む元気づくり」への

支援」「誘客を目指した観光振興」

「地域防災無縁整備と自主防災組織による消防防災力の強化」「定住の促進」「地域の独自性のある環境政策」を推進してきたところでありま

す。
新年度におきましては、さらにこれらの施策を充実させ、住みやすさを実感できる、暮らしの質を高める幸福度の高い、本町の魅力を増すための様々な事業に取り組むこととしております。

主要施策の主な取り組み

それでは、これら主要政策のテーマごとに主な取り組みを申し上げます。と思います。

○道路網の整備

中部縦貫自動車道の建設は、真に必要な道路として、福井県にとっても永平寺町にとっても、最も重要なプロジェクトであります。

長野県松本市と福井市を結ぶ約百六十キロメートルの高規格幹線道路で、中央自動車道、東海北陸自動

車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的に整備が進められております。特に、福井県内の永平寺大野道路は、大野市と福井市をつなぐ二十六、四キロメートルの自動車専用道路であり、災害時における安定した交通の確保、文化・歴史・地域資源を活かした観光の振興、地域の活性化、高度医療施設へのアクセス向上が図られることとなります。

これまで、非常に長い年月を費やして、国、県、町が一体となって地権者の皆様との協議を重ねてまいりましたが、このたび、事業用地に

つきまして、誠心誠意交渉を行い、

轟地区に関する地権者のご理解を得ることができ、全線開通に向けた建設促進が大きく前進することとなりました。改めて、地権者の皆様方のご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。

平成二十八年年度開通に向けて全力で取り組んでまいります。

県道栃神谷鳴鹿森田線の上志比牧福島地区から永平寺谷口地区までの五・四キロメートルは、生活道路を確保するための機能補償道路として整備を進めてまいりました。三町村が合併する前からの重要課題であり、特に上志比地区の皆さんにとっては、人口減少への歯止めと福井市への通勤時間の短縮、交通渋滞緩和、地域間連携の強化など、様々な面から待ち望まれていた事業でありました。今、最終的な工事が進められておりますが、新年度の早い時期に完成・開通を目指しているところであります。

「道の駅」整備事業について申し上げます。道路利用者への休憩サービスを提供、観光・案内や特産品販売の拠点として、個性豊かなにぎわ



建設が進む中部縦貫自動車道

いを創出する「道の駅」整備事業が県において採択され、昨日発表されました。計画づくりなど、県と共に整備を進めたいと考えております。

○農業の振興と

商工業の活性化

現在、合併前の整備計画に基づき、農業振興地域を指定し、優良農地の保全に努めております。これを町全体の整備計画に統合し、基礎調査に基づいた今後十年間の農地保全の方向性を定めるとともに、都市計画プランとの整合性を図ることいたします。



永平寺町産業フェア2012

農業者が高齢化等により離農又は経営転換し、地域の中心経営体等への農地集積を加速させるため、農地集積協力を交付することとしております。

また、食育と地産地消を推進し、町の振興作物をさらに普及させるため、料理コンテストを開催します。優秀な作品は、学校給食などに取り入れるほか、町内外に広めていきたいと考えております。

本町の魅力やブランド力を向上させ、全国に向けて商工業製品の販路を拡大するために、商工会が実施する「東京ビジネスサミット出展事業」を支援いたします。これは、魅力ある商品の発掘、セミナーの開催、商談会への出展・取引開始調整等にかかる経費の一部を助成するものであります。

また、町内の事業者が商業の活性化を図ることを目的に、自らの工夫やアイデアをもとに集客や消費拡大につながるイベント開催に対して、その経費の一部を支援することとしております。

○個性と能力を伸ばす 教育力の向上政策

町の将来を担う子供たちが安全な環境で学び、たくましく成長することができるよう、小中学校の耐震化に取り組んでまいりました。これまで、八つの小中学校で十九棟の校舎、体育館の補強工事を実施してきましたが、本年度一月補正予算で四つの小中学校で四棟の校舎等の耐震補強工事業費を予算計上し、新年度に繰り越して実施することとしております。

町内の小・中学校で耐震補強工事を必要とする校舎等は全部で二十三棟ありましたが、平成二十五年で耐震化が全て完了することになります。

本年度から中学校の体育の授業で武道が必須項目となり、本町の三校では柔道に取り組んでおります。松岡中学校には、武道場がなく、体育館にマットを敷いて授業を行っている状況にあります。一方で、部活動では男女の剣道部もあり、今の体育館では十分なスポーツ活動に支障をきたしております。



全国大会出場 御陵Vスパークチーム

また、平成三十年に開催される二巡目の福井国体では、少年女子のバスケットボール競技会場として決定されております。昨年十月に実施された中央競技団体（公益財団法人日本バスケットボール協会）による正規視察においては、練習会場について配慮を求められており、財政支援、建設の時期等も十分考慮した結果、新年度において、松岡中学校第二体育館（武道場）建設のための測量・地質調査、実施設計を行うことといたしました。

永平寺中学校では、老朽化したプールを解体し、松岡小学校におい

ては、体育館の新築に伴い、建築基準法の規定により一部改築が必要となったため、受電設備の入れ替えと窓ガラスの取り替え工事を行い、上志比小学校では、トイレ改修のための実施設計を行います。

子どもたちの豊かな人間性と社会性、健全で丈夫な身体を育むため、学校給食の持つ役割は非常に大きなものがあります。新年度から、若い世代の教育にかかる負担を軽減するため、学校給食費の無償化事業に取り組むことといたしました。県内の市町では初めての取り組みとなりますが、教育環境の豊かさや、子育て支援、定住の促進にもつながるものと期待しているところであります。

町内七つの小学校では、文化・芸術・スポーツなど様々な活動を通して、交流を深めておりますが、さらに学校間の交流を活発にするとともに、集団活動の重要性を認識し、児童数の多寡を超えた活動とするため、新たに「みんなの学校さわやか交流事業」に取り組みます。

○子育て家庭や未来の子ども応援の充実

本町の子育て支援の取り組みは、県内でも注目されており、特に、県内で一番安い保育料、中学三年生までの医療費、また、インフルエンザを始めとする各種ワクチン接種の無料化、「子育て応援の日」の設定など、他の市町に先駆けて取り組んできました。子育て支援が効果を挙げるには、景気や政治情勢に左右されない、息の長い取り組みが必要であります。少子化が進む中であって、いかに若年層を減らさずに、町



子育て応援の日園開放事業

の活力として育てるかを考えながら、これまで以上に子育てしやすい環境の整備に取り組んでまいりたいと考えております。

新年度には、全ての幼稚園に緊急地震速報装置と災害時に持ち運べるポータブルテレビを整備いたします。

また、屋上やトイレなど、整備が必要な園舎につきましては、計画的に改修工事を行ってまいります。

○地域が主体となり取り組む元気づくりへの支援

高齢者が元気で安心して日常生活を送ることができるよう、様々な事業を展開しておりますが、全ての町民がともに支えあい、助け合うという意識を醸成し、その仕組みやネットワーク、行政・事業者・町民の役割や取り組みについて定める「地域福祉計画」を策定いたします。

また、身体に障害を持つ児童や知的障害のある児童が、その障害を除去、軽減するために必要な手術や治療を支援する「自立支援育成医療給付事業」を実施いたします。

これまで、低体重児・未熟児の届け出、指導等については、都道府県の事務として進められてきましたが、法律の改正により、市町村に移譲されることとなり、養育のため入院治療を必要とする一歳に満たない未熟児の医療費の給付を、町が実施いたします。

また、建設を進めている健康福祉施設「永平寺温泉「禅の里」」の開業にあたり、現在、社会福祉協議会へ委託している永寿園の送迎バスを拡充することとしております。運営事業者のバス送迎と併せ、永平寺、松岡地区からの利用者の利便が図られるものと考えております。

この「健康福祉施設の整備」につきましましては、新たな契約を締結し、施設の建設を進めておりますが、開業を待ち望んでいる町民の皆様のために、一日も早い完成に向けて力を尽くしてまいります。

一人暮らしや高齢者のみの世帯の安否確認と、栄養バランスの摂れた食事を提供するため、配食サービスを実施しておりますが、永平寺地区、松岡地区の実施回数を週二回に拡充いたします。今後も、 balan

スのとれた配食サービスの実施に努めてまいります。

○誘客を目指した 観光の振興

大本山「永平寺」をはじめ、吉峰寺、松岡古墳群、九頭竜川流域など、本町は多くの観光資源に恵まれておりますが、全国的に観光客は減少傾向にあります。永平寺町の基幹産業とも言うべき「観光」の振興は、今、最も大きな課題であります。これまで、永平寺門前の整備や永平寺線跡地の遊歩道整備、永平寺口駅周辺整備など、観光客の増加を



えいへいじ大燈籠ながし

図るため、様々な事業を展開しているところであります。

北陸新幹線金沢開業、中部縦貫自動車道と舞鶴若狭自動車道全線開通に向けて、地域の歴史・文化、自然、産業などを活かした観光地づくりを推進し、観光地の魅力アップ、観光地づくりのスピードアップが求められております。福井県では、

「新高速交通ネットワーク活用・対策プラン」に位置づけられている本町をはじめとする地域を指定して、「観光まちなみ魅力アップ事業」を展開することとしております。本町においては、大本山「永平寺」を中心とした観光客入込数の増加を図り、賑わいを創出するため、この事業を積極的に活用したいと考えております。新年度は、専門家や観光関係者で構成する「観光まちづくり推進会議」を設置して、観光地の魅力を高める「観光まちづくり計画」を策定したいと考えております。

また、松岡藩の歴史・伝統・文化を生かし、織物会館と周辺整備を進め、地域の活性化につなげるため、「ふるさと創造プロジェクト事業」推進のため、協議会を立ち上げま

す。

首都圏主要駅構内での観光PR、観光情報誌へのPR広告などに取り組み、魅力ある観光資源を町内外に広く発信し、誘客につなげていきたいと考えております。

○消防・防災力の強化

過去の災害や大きな事故を教訓としながら、安全や防災に関する様々な体制を見直し、住民生活の安全確保に全力で取り組む必要があります。

現在、地域防災計画の見直しを進めております。これまでの一般的な災害と地震災害への対応を中心とした計画から、風水害、地震、雪害、大規模事故、原子力災害など様々な災害への対策を定める計画としており、避難場所の再確認、公共施設や小中学校の安全性の確保、災害時における備蓄品の配備、地域の実態に応じた訓練の実施、自主防災組織の強化など、防災力をこれまで以上に高めていきたいと考えております。本年度から四年計画で、町内全域の防災行政無線の整備を進めておりま



本庁に整備された防災無線放送設備

すが、新年度は、松岡地区における屋外拡声子局の整備をはじめ、Jアラート自動起動装置と情報自動配信装置を整備することとしております。

また、消防救急体制を強化するため、消防庁舎の統合を進めておりますが、新年度においては、開発センターの耐震補強工事の実施設計と消防新庁舎の実施設計、消防救急デジタル無線・高機能指令センターの調査設計を行うこととしております。その他の公共施設の耐震化についても、順次、計画的に進めてまいります。本庁舎は、新年度から二年計

画で、耐震補強工事と空調設備やエレベーター設置工事を進めることとしております。永平寺支所と開発センターは耐震補強工事の実施設計を行うこととしております。

○定住の促進

これまで、宅地開発や町有地の売却による優良宅地の提供、「若者定住促進支援制度」の創設など、他の市町に先駆けた定住促進に向けた事業に取り組んでまいりました。

教育力の向上、子育て支援、健康づくりは県内でも優れた取り組みとして評価されておりますが、さらにこれらの魅力的な政策を町内外に発信していくため、二つのテレビ放送局を活用して、町のPRコマーションを放映したいと考えております。

現在、町のホームページは構築以来七年が経過し、更新の時期にきております。システムの最適化と他のシステムとの情報連携を図り、若者を中心とした利用者の検索を増加させ、これまで以上に情報化の推進に努めてまいります。

○地域の独自性のある環境政策

現在、地球温暖化への対策と循環型社会構築の一環として、新エネルギーの開発と利用、省エネの取り組みが並行して進められております。本町でも、町の木である油桐の活用について研究しておりますが、このたび、ろうそくの製作に成功いたしました。先日、大本山永平寺の「冬の燈籠まつり」にも、このろうそくが点灯され、闇夜を照らす光の道となり、多くの参拝客から共感を得たところであります。今後、製品化に

向けて、さらに研究を重ねてまいりたいと考えております。

平成二十一年に策定した「環境基本計画」は、十年の計画期間の中間年あたり、これまでの環境政策を点検するとともに、社会情勢等の変化に対応し、新たな環境政策の方向性を示す必要があるため、見直しを図ることとしております。

また、省エネルギーを進めるため、通学路の防犯灯のLED化は、引き続き実施していくこととしております。

これからも、町民・事業者の皆様と共に、環境について考え、自覚と責任を持って永平寺町独自の環境政策に取り組み、この町の豊かな環境を次世代に引き継いでいきたいと考えております。

元気・活力

未来につなぐ 暮らし向上予算

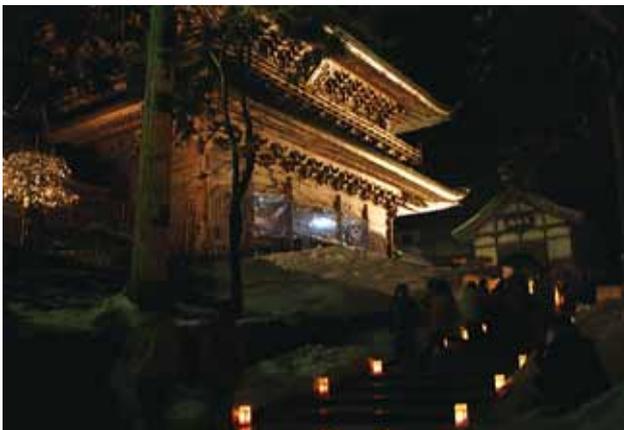
最近の経済情勢につきましては、国は、先月二十三日に発表した「月例経済報告」において、景気の基調判断は「弱い動きとなっているが、一部に下げ止まりの兆しもみられる」として、昨年五月以来八ヶ月ぶりに上方修正いたしました。自動車の生産が持ち直し、輸出環境が改善されるなど、経済対策の効果を背景に景気回復へ向かうことが期待されております。

こうした情勢に的確に対応し、地域の均衡ある発展と住民サービスの向上につながる事業を展開していくため、先に述べた主要政策のテーマごとの取り組みが確実に推進できるよう、予算の編成にあたってまいりました。

そして、平成二十五年年度予算を「元気・活力 未来につなぐ 暮らし向上予算」といたしました。

まちづくりに向けての 新規事業・主要事業

それでは次に、平成二十五年年度当初予算について、新規事業や主要事業を中心に説明申し上げます。



冬の燈籠まつり

健康で笑顔に

満ちたまちづくり

○ポイント制で

健康づくりを推進

「健康づくりの推進」につきましては、これまで以上に取り組むこととしております。平成二十五年度の保健計画「よろこび 行動目標を實踐する」に基づき、それぞれが健康づくりの目標を定め、実行できた場合は、ポイントカードにシールを貼り、そのポイントの点数に応じて景品を提供するものであります。健康



健康づくり推進事業

づくりの実践をポイント制にすることにより、生活習慣病の予防や健康増進の推進につながるものと期待しております。

地域がつくるみんなの健康づくり推進事業、無料のがん検診、インフルエンザ等の予防接種、肺炎球菌のワクチン接種などの助成、妊婦・乳児健康診査も引き続き実施してまいります。

○地域福祉計画の策定・

新たに未熟児の

養育医療給付を

新しい時代において私たちが目指すべき社会は、高齢者や障害を持つ人たちが、社会の対等な構成員として人権が尊重され、社会のあらゆる活動に参加、参画するとともに、社会の一員としてその責任も分担する

共生社会であります。このような社会の実現を図るためには、行政だけでなく、地域の全ての人々がそれぞれの役割と責任を自覚して主体的に取り組むことが必要であり、住民一人ひとりの理解と協力を促進し、社会全体として推進していくことが重要であります。



敬老会

町民がともに支えあい、助け合おうという意識を醸成するため、その仕組みやネットワーク、行政・事業者・町民の役割や取り組みの基本的方向を定めるため、地域福祉計画を策定いたします。

また、自立支援育成医療費給付、未熟児養育医療給付を新たに実施するほか、一人暮らしの高齢者等に提供している配食サービスを拡充いたします。

○幼児園・幼稚園に緊急

地震速報装置等を配備

健康福祉施設の整備については、

新たな建設工事契約を締結し、工事を進めておりますが、一日も早い完成を目指しております。開業に合わせ、コミュニティバスの路線見直しや無料送迎バスの運行などの準備を済ませており、利用しやすい施設の完成を目指しているところであります。

地震の発生を迅速に把握し、適切な避難と誘導ができるよう、全ての幼児園・幼稚園に緊急地震速報装置と災害情報収集に必要なポータブルテレビを配備いたします。また、老朽化した幼児園の屋上等の改修工事も計画的に進めます。

健やかに育ち

心豊かな人づくり

○小中学校の給食費の

無償化を実施

永平寺町の子供たちの学力・体力は県内でトップクラスにあり、引き続き、地域ぐるみで健全でたくましい成長を見守っていく必要があります。

そのため、「豊かな体験活動推進



学校給食の様子

事業」「特別支援教育支援員の配置」「確かな学力育成支援事業」「学校元気創造事業」「海外派遣事業」「みんなの学校さわやか交流事業」など本町独自の教育を充実してまいります。

また、若い世代の教育にかかる負担を軽減するため、新年度から「小中学校の給食費の無償化」を実施いたします。これまで、様々な行財政改革に取り組んでまいりましたが、「子ども医療費の無料化」に続き、その効果を活用して県内でも初めてとなる事業を実施いたします。

○全ての小学校にも 緊急地震速報装置の配備 松岡庭球場の施設改修も

松岡中学校においては、第二体育館（武道場）建設に向けた測量、地質調査、実施設計を行うほか、全ての小学校に緊急地震速報装置を整備し、松岡小学校では校舎の改修工事、永平寺中学校ではプール解体、上志比小学校ではトイレ改修のための設計を実施いたします。

また、松岡庭球場敷地内の排水施設に不具合が生じておりますので、改修することとしております。
町立図書館では、蔵書を計画的に整備しておりますが、新年度においても図書購入の充実を図っているところであります。

安心して暮らせる
まちづくり

○松岡地区に 屋外拡声子局を整備

昨年から防災行政無線の整備に取り組んでおりますが、新年度は、松

岡地区に屋外拡声子局十一局と、アラート自動起動装置及び情報自動配信装置を整備いたします。

これまで、自主防災組織の強化を図るため、災害用テントやハンドマイク、テント用マット等の整備をいたしました。新年度は折り畳み式のタンカを全地区に配備いたします。災害時における救護活動に十分活用していただけるものと考えております。

○自主防災組織 連絡協議会を支援

自主防災組織は町内九十の全ての地域で立ち上げていただきましたが、それぞれの組織の連携を深めるとともに、さらに広域的な活動や訓練等を実施していただくため、自主防災組織連絡協議会を町内八地区で設立いたしました。新年度には、この連絡協議会の活動や資機材等の整備に対して、支援をすることとしております。

○急傾斜地崩壊対策工事や 河川の水害を防ぐ対策を

集中豪雨等で地盤が緩み発生する



改修が進む高橋川

「がけ崩れ」を未然に防ぐため、危険区域に指定されている松岡薬師地区で急傾斜地崩壊対策工事を実施いたします。

また、土石流や増水による二次災害を防ぎ、安全な生活環境を守るため、市野々の押谷川で砂防ダムの建設が進められることになっておりますが、その下流域の整備のための調査設計を行います。

このほか、吉峰川、高橋川、南熊谷川など水害の発生が予測される河川においては、計画的に嵩上げや護岸工事を進めます。

○庁舎の 耐震補強工事を実施

耐震補強工事関係では、本庁舎の耐震補強計画及び実施設計に基づき、耐震補強工事と関連工事を行うとともに、永平寺支所と開発センターの耐震補強工事の実施設計を行います。

○消防新庁舎の実施設計等 消防救急体制の強化

消防庁舎の統合につきましては、新年度においては、消防新庁舎の実



整備された第3分団車庫

施設計、消防救急デジタル無線・高性能指令センターの調査設計を行うこととしております。

平成二十年四月に消防団の再編を行い、これまで計画的に消防団車庫と消防団車両等の更新を図ってまいりました。新年度におきましては、永平寺中地区の第四分団車庫を新築するとともに、平成二年に導入したポンプ車を更新することとしております。

また、特殊災害対応の除染シャワーや火災活動用の呼吸器、消防ホースなどを整備するほか、自主防災組織の強化や連絡協議会などの防災訓練、救命救急講習会などに要する経費も拡充しており、消防・救急体制の強化を図ってまいります。

○住宅用太陽光発電 設備導入を支援

環境対策におきましては、平成二十年に策定した環境基本計画を改定し、本町の環境保全の方向性を定めるとともに、循環型社会の構築を進めてまいります。

住宅用太陽光発電設備導入に対する支援については、これまで以上に

普及・促進することいたします。

防犯対策では、小中学校の通学路を明るく安全にするため、LED照明による防犯灯の整備を引き続き実施いたします。

○テラスの造成工事等を 松岡公園整備

松岡公園の整備につきましては、これまで、松岡清水区からのアプローチ道路の整備、駐車場整備、南春日山古墳付近の法面整備工事、福寿園跡地の芝生広場の整備や植栽工事を実施してまいりました。三年目となる新年度は、テラスの造成工事や南北をつなぐアプローチ道路の工事を進めることとしております。

快適で利便性の高い まちづくり

○歩行者の

安全確保を優先

道路の整備については、町では安心で安全な歩行空間づくりのため、歩道橋の整備や路側帯をカラー舗装にするなど、歩行者の安全確保を優



歩道整備予定の町道牧福島 藤巻線

先的に進めてまいります。

現在、領家橋の下流に新たな歩道橋を設置するため、設計を行っておりますが、新年度におきまして、社会資本整備総合交付金事業の採択に向けた手続きを進めます。

永平寺線跡地遊歩道整備と永平寺口駅周辺整備事業は計画の最終年度として、仕上げとなる整備を進めます。

このほか、中部縦貫自動車道の整備に伴う上下水道の配水管と汚水管の敷設替え、宮重・湯谷地区の上水道加入に伴う配水池の建設工事を行います。

○各種システムの構築・ 情報化の推進

現在、町では二万二千九百五十五人の戸籍を管理しておりますが、広範囲にわたる大規模災害等で戸籍データの正本と副本が同時に滅失することを防ぐため、戸籍副本データ管理システムを構築いたします。

また、情報化の推進のために、電子入札システムと総合地理情報システムの導入と町のホームページのシステムを更新することとしております。このほか、ふるさと創造プロジェクト実施計画の策定や町のPRコマercialの放映に新たに取り組みます。

にぎわいのある 活力豊かなまちづくり ○販路拡大へ 商工業者を支援

町の活力や地域の活性化につなげるため、商工業の振興を図ることが重要であります。

商工会や商業者が実施する消費拡

大と賑わい創出のための「商店・まちなか元氣アップ事業」、魅力ある商品の発掘と販路拡大を目的とする「東京ビジネスサミット出展事業」に対して、支援をすることとしております。

中小企業融資資金や、利子補給、勤労者生活安定融資資金などの貸付事業も継続して実施し、チャレンジ企業の支援にも積極的に取り組みまいります。

○農業振興地域 整備計画を策定

農業基盤を確立し、農業振興と優良な農地の保全のため、農業振興地域を指定しておりますが、その整備計画は合併以前に策定されたもので、新年度においてこれを統合したいと考えております。基礎調査に基づいた今後十年間の農地の保全と高度利用、都市計画マスタープランとの整合性を図るなど、地域指定の見直しを行い、新たな農業振興地域整備計画を策定いたします。

また、農地の集積に対する協力を支給、林道にかかる橋梁の点検、町の振興作物を使った料理コンテス



圃場整備が進む吉野地区

トなどを新たに実施します。有害鳥獣駆除対策、水田農業構造改革補助、農村災害対策などの事業は拡充して進めてまいります。

松岡吉野・光明寺両地区における農山漁村活性化プロジェクト事業も、平成二十五年度が事業計画の最終年度となりますので、事業完了を目指して事業を進めてまいります。また、県単土地改良事業や県単林道工事、その他の町単独事業についても、計画的に進めてまいります。

○永平寺門前周辺 まちづくり計画を策定

観光の誘客を一層高めるため、首都圏主要駅構内での観光映像の放映、観光情報誌への広告掲載、永平寺門前周辺観光まちづくり計画の策定など、新たな取り組みをしたいと考えております。

徹底した行財政改革の 推進と健全な財政運営を

新年度予算における主要事業と新たな取り組み等について申し上げますが、財源の確保と健全財政の維持に努め、改革を進めていくことを基本としたところであります。その結果、五十一の新規事業と、十七の事業を拡充して行うこととしており、平成二十五年度一般会計の当初予算の規模は、八十四億二千五百九十万円となった次第であります。

その他、国民健康保険事業特別会計をはじめとする、五つの特別会計予算につきましては、それぞれの

事業が円滑に執行できるよう、適正な予算を編成したところでありませす。その結果、特別会計の予算総額は、四十五億七千八百五十二万円となり、上水道事業の企業会計は、五億五千四百一十万円となった次第であります。

全会計の予算総額は百三十五億五千八百万円余となり、前年度と比較すると、一億二千五百万円余を減額しております。しかし、新年度に予定しておりました事業を、一月補正予算並びに今回の三月補正予算で六億一千万円余を前倒ししておりますので、実質的には前年度より増額した予算となっております。

經常収支比率や実質公債費比率など、財政状況の弾力性や健全性を示す指標は、県内市町の中でも上位に位置しており、これからも、事務事業の改善、コスト削減など徹底した行財政改革を進めながら、健全な財政運営に努めてまいります。

地域のつながりを大事に 幸せを感じる「まちづくり」

新たな政権が誕生して三ヶ月が経

過しようとしております。日本再生に向けて、積極的な政策が展開されておりますが、国民の視点に立ち、国民の幸せのために国政を進めていただきたいと願っております。

私たちの町、永平寺町においても、地域のつながりを大切にして、連帯感を深め、真の地方自治を目指したいと考えております。

これからも、町民が誇りと将来への希望を持てるよう、永平寺町を新しい時代に向けて発展させてまいります。どの地域も良くなり、町民だれもが幸せを感じることができ「まちづくり」にまい進してまいりたいと考えております。

三月補正予算について

一般会計の補正予算は、国の緊急経済対策の迅速かつ円滑な実施を図るため、今年度限りの特別の措置として創設された「地域の元氣臨時交付金」を活用した事業に取り組みものを中心編成したところであり、平成二十五年度に予定しております事業を、前倒しして実施するもの

であります。

この交付金は、通常二分の一の国庫補助のところ、財政力に応じて、七割から九割の範囲で交付され、翌年度の特定期間としても活用できる、非常に有利な交付金であります。

農林水産業費において「震災対策農業水利対策事業」と「農山漁村活性化対策整備事業」「林道点検診断事業を実施します。

土木費におきましては「道路及び橋梁建設改良工事」「トンネル点検」「町営住宅改修工事」を実施いたします。

教育費では、小学校四校に「太陽光発電施設」を整備することとしております。

その他、選挙費、介護給付費、有害鳥獣対策費、除雪費など各事業の確定に伴う補正及び年度内に措置が必要な経費等について補正を行うものであります。

また、永平寺口駅周辺整備事業、小中学校の耐震補強工事、先ほど申し上げました「地域の元氣臨時交付金」を活用した事業等の十二の事業につきまして、年度内の完成が見込

めないことから、繰越をさせていただくこととしております。

なお、町税や国庫支出金、県支出金、繰越金等を調整し、発行予定の地方債の額を減額するなど、歳入予算を精査した結果、本年度も財政調整基金を取り崩すことなく、財政調整基金の総額は、二十二億七千九百万円余を確保できることとなりました。

その他、国民健康保険事業をはじめとする特別会計の補正予算につきましては、不足が見込まれる医療費の増額や居宅介護サービス給付費の増額など、本年度内の事業実施に必要な経費の増額を行うものであります。

その結果、三月補正予算の規模は、一般会計が三億四千四百八十七万円の増額。特別会計は八千三十七万六千円の増額となった次第であります。

元気・活力 未来につなぐ 暮らし向上予算

平成25年度
当初予算一般会計

84億2,590万円(伸び率▲3.7%)

歳入

主要財源である地方交付税は、地方が安定的な財政運営ができるようにとした国の財政計画等や政策の見直しを考慮した結果、昨年度と同様の財源を見込みましたが対前年度比0.6%(2,300万円)の減となっています。歳入予算全体に占める割合としては43.2%となっています。町税は、依然厳しい経済情勢ではありますが、税制改正による個人住民税の増(3,164万円)を見込んでいます。一方、本年度は、固定資産税の評価替えによる土地分の減(770万円)、デフレによる企業の業績悪化により法人住民税の減(1,540万円)を見込んでいますが、町税全体では2.5%(4,717万円)の増加となっています。また、全体に占める地方交付税と町税の割合は約3分の2を占めています。

国庫支出金は、16.3%(10,568万円)減となっています。社会保障費の自然増に伴う介護給付費国庫負担が増加した一方、国の施策見直しに伴う児童手当支給事業や学校施設整備及び道路事業に係る国の補助事業による国庫支出の減を見込んだためです。

県支出金は、農山漁村活性化プロジェクト事業の終了や雇用創出事業の減より20.2%(11,510万円)の減を見込みました。

繰入金33,959万円のうち町の貯金である財政調整基金は、29,800万円を繰入れたほか、快適な教育環境を確保するための学校図書購入や校外学習バス借上げ代などにまちづくり基金から1,215万円を繰入れます。

町債(町の借金)は19.3%(17,200万円)の減となっています。地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債が国の地方財政計画を考慮し46,000万円と前年度と同額を見込んだほか、合併特例債は、健康福祉施設整備工事の完了に伴い17,200万円の減となっています。

税制の改正により税収が昨年度より若干の増となるものの、国の施策に伴い地方交付税の減少を見込むなど、今なお地域経済の持ち直しを実感できる状況ではありませんが、誰もが安心して暮らせるまちづくりや住民福祉向上のための事業を積極的に行うため、必要な財源の確保は図っています。

歳出

民生費が歳出予算全体の28.8%を占めています。中学校終了時までの子ども医療費助成事業(6,363万円)、社会保障費の自然増に伴う障害者自立支援等を含む介護給付費(34,766万円)、園児たちが地震などの災害でも速やかに適切な避難ができるように緊急地震速報装置の整備(310万円)などを行います。

また、総務費においては、昨年度に引き続き、防災行政無線の整備(5,584万円)や、防災拠点の中核をなす本庁舎の耐震補強工事及び永平寺支所・開発センターの耐震補強工事実施設計の委託、自主防災組織連絡協議会に対し、活動費や防災資機材購入費の補助を行い、安心して暮らせるまちづくりを推進します。その他、本町がこれまで行ってきた子育て支援、教育力の向上など、他自治体より先進的な政策を広く周知するため、テレビスポットのコマーシャルを放映し永平寺町への定住を促す事業への取り組みを進めます。また、「若者定住促進支援事業」も併せて行うなど人口が減少しない特色あるまちづくりに向けた事業も行います。

教育費においては保護者の経済的負担の軽減や住みやすさを実感できる教育環境を図るため、学校給食無償化事業(8,800万円)に取り組みます。障害をもつ児童に対し、学校生活上の介助や学習の支援をする特別支援教育支援員の配置や不登校解消のための登校支援員の配置をいたします。また、自然の中での集団宿泊活動を通じて自立心や人間関係の育成を行うため全ての小学校の5年生を対象に、豊かな体験活動事業を行います。

衛生費においては、元気長生き健康づくり推進事業(1,812万円)、集落全体および町民ひとり一人が自ら健康づくりに取り組んでいただけるよう支援する健康づくり推進事業(979万円)を行います。環境政策では、町環境基本計画の中間年であることから、これまでの施策を総点検し社会情勢の変化に応じた計画の改定を行い、本町が進める環境保全の方向性を明確にする取り組みも行います。

土木費・農林水産業費においても生活道路網の整備や自然に親しむ憩いの空間整備としての松岡公園整備、農林業を行う担い手の育成と有害鳥獣対策経費の充実を図るほか、観光客の誘客に向けた事業、町内で開催される集客や消費拡大となるイベントを行う企業への助成等を行うなど商工業振興を図るための施策に対応した予算となっています。

特別会計(対前年度伸び率)

●国民健康保険事業	17億8,245万円	(1.0%増)
●後期高齢者医療事業	1億8,770万円	(0.6%減)
●介護保険(保険勘定)	16億9,675万円	(1.4%増)
●下水道事業	6億9,492万円	(1.1%増)
●農業集落排水事業	2億1,670万円	(1.6%減)
合計	45億7,852万円	(1.0%増)

企業会計(対前年度伸び率)

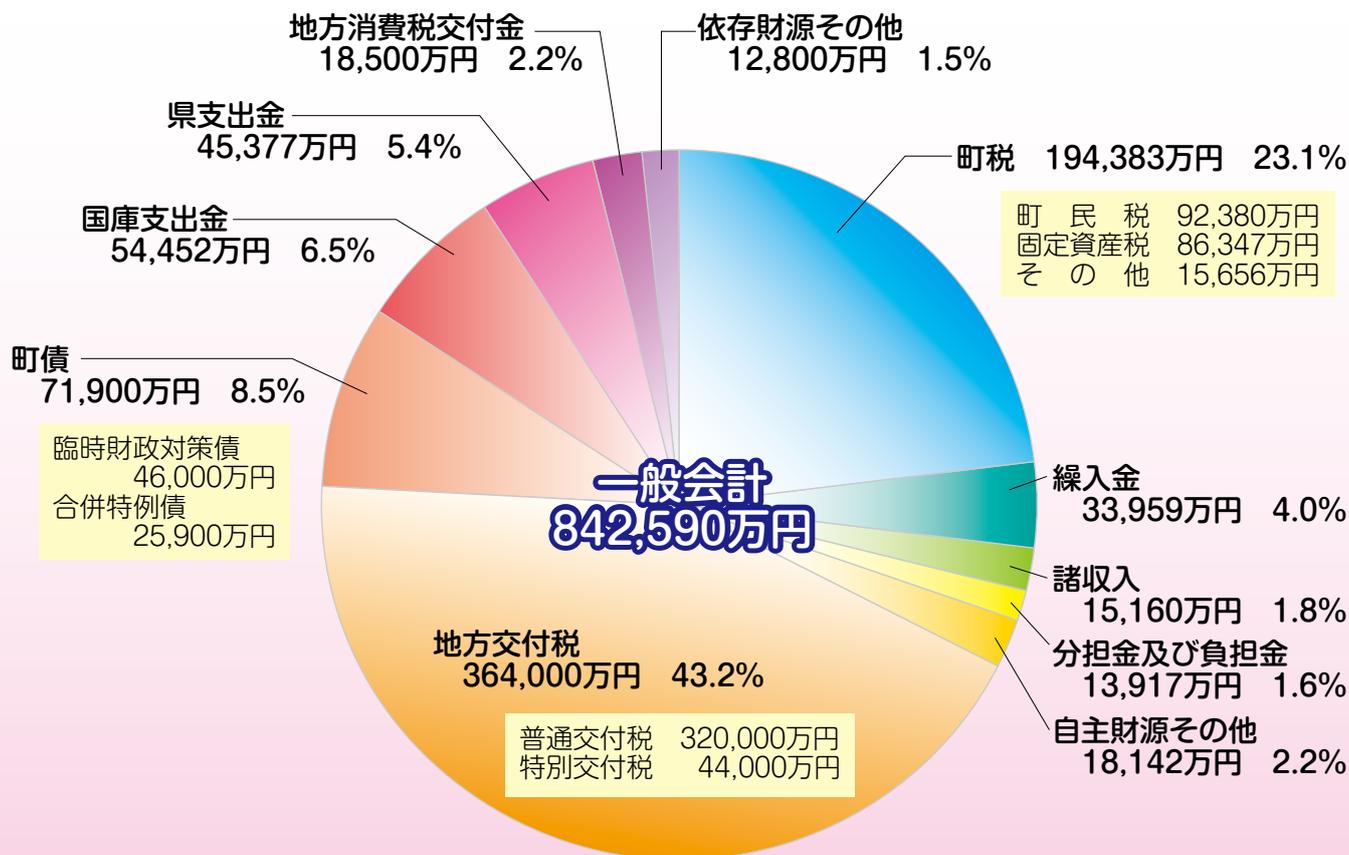
●上水道事業	5億5,410万円	(9.1%増)
※上水道事業の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計です。		

【特別会計】 特別会計は、総額45億7,852万円、対前年度比1.0%(4,435万円)の増となりました。これは、国民健康保険事業特別会計において、退職被保険者医療費の増が見込まれることや介護保険事業(保険勘定)において、地域密着型介護サービス給付、施設介護サービス給付の利用者の増によるものが主な要因となっております。

また、下水道事業会計および農業集落排水事業会計においては、例年並みの予算となっております。

【上水道企業会計】 5億5,410万円で対前年度比9.1%(4,633万円)の増となりました。松岡湯谷・松岡宮重地区の水道を左岸高区区域の給水区域に統合するため、松岡上吉野地区に配水池を建設し、住民に安定した水道水を供給するための詳細設計・工事(4,707万円)を行うことによるものです。今後とも水源の確保や老朽化に伴う施設更新を行うなど、快適で住みよいまちづくりをめざし、将来的に安定した飲料水の供給に努めます。

歳入



町の予算をより身近に感じていただくために、一般会計予算を家計簿の形にして表してみました。なお金額の単位は「千万円」を「万円」に置き換えています。

永平寺さんちの会計簿

収入

給料	690万円
基本給 (町税)	194万円
諸手当	
(普通交付税、国庫支出金など)	496万円
パート収入	
(分担金、使用料など)	22万円
雑収入	16万円
金融機関からの借入 (町債)	72万円
貯金の取崩 (繰入金)	34万円
前年度の残金 (繰越金)	9万円
合計	843万円

支出

食費 (人件費)	207万円
医療費 (扶助費)	100万円
公共料金、生活用品など (物件費)	119万円
保険料、交際費など (補助費など)	141万円
ローンの返済 (公債費)	91万円
家の改築、修繕など (普通建設事業費など)	71万円
子どもへの仕送り、友人への援助 (繰出金、貸付金)	108万円
貯金	6万円
合計	843万円

歳出

商工費 15,724万円 1.9%
 消防費 39,511万円 4.7%

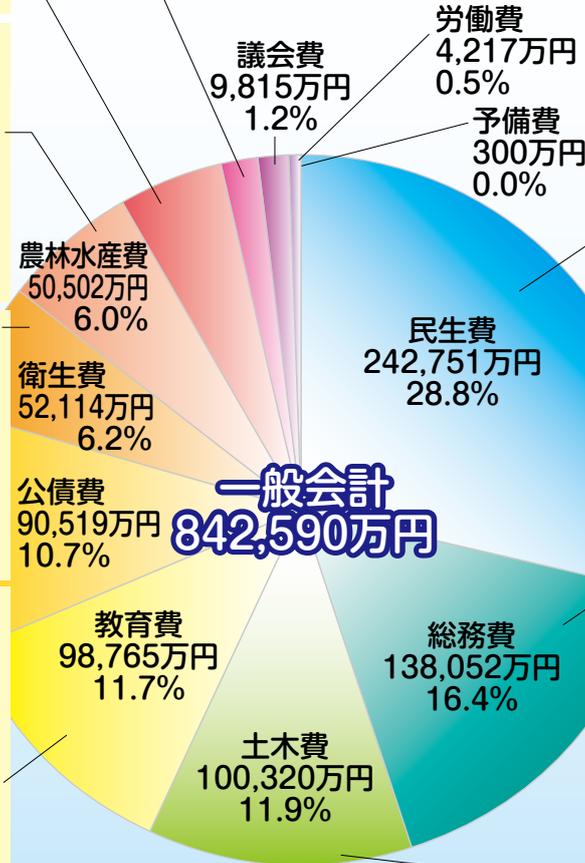
消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター総合整備	
実施設計委託料	1,016万円
新消防庁舎建設実施設計委託料	1,966万円
消防団永平寺中地区消防施設新築工事	1,499万円
第4分団消防ポンプ車購入費	1,750万円

永平寺町農業振興地域整備計画策定事業	452万円
「おいしいね!永平寺」料理コンテスト	27万円
有害鳥獣対策ネット柵設置補助事業	600万円
レンゲ米(有機)学校給食推進事業	449万円
県単・町単土地改良事業	4,369万円
県単・町単林道事業	4,835万円
水田農業構造改革補助金	4,249万円
農村災害対策整備事業	960万円
林道点検業務委託	50万円

健康増進事業	979万円
未熟児療育医療給付事業	300万円
妊婦乳児健康診査委託	1,476万円
予防接種事業委託	4,093万円
がん検診委託	1,812万円
地域でつくるみんなの健康づくり推進事業	120万円
環境基本計画改定事業	29万円
住宅用太陽光発電設備導入事業	216万円
不法投棄等監視パトロール事業	45万円

学校給食無償化事業	8,800万円
松岡中学校第2体育館(武道場)測量・地質調査	
実施設計業務委託	1,477万円
松岡小学校校舎大規模改修事業	1,181万円
永平寺中学校校舎改修等工事	1,261万円
緊急地震速報装置設置事業	217万円
特別支援教育支援員配置事業	3,270万円
登校支援員配置事業	219万円
豊かな体験活動推進事業	542万円
「確かな学力」の育成支援事業	330万円
みんなの学校・さわやか交流事業	70万円
芸術ふれあい教室事業	114万円
学校図書購入費	318万円

観光情報発信事業	203万円
永平寺門前周辺まちなみ魅力アップ事業	150万円
商店・まちなか元気UP事業補助金	90万円
東京ビジネスサミット出店事業	75万円
チャレンジ企業支援補助	100万円
永平寺町商工会運営補助金	1,000万円
商工振興関係資金預託事業	4,500万円



放課後児童クラブ事業	1,466万円
児童館運営事業	1,492万円
緊急地震速報装置整備事業	310万円
子育て応援の日設定事業	124万円
子ども医療費助成事業	6,363万円
地域福祉計画策定業務委託	297万円
障害者自立支援事業介護給付費	34,766万円
自立支援育成医療費給付費	171万円
配食サービス事業	658万円
外出支援サービス事業	1,881万円
在宅介護支援センター事業委託	754万円
社会福祉協議会活動補助金	4,589万円
国民健康保険事業会計繰出金	5,486万円
後期高齢者広域連合負担金	22,814万円
後期高齢者医療特別会計繰出金	4,673万円
介護保険会計介護給付費繰出金	24,395万円

本庁舎耐震補強工事・関連工事	6,308万円
永平寺支所・開発センター耐震補強実施設計委託	920万円
永平寺線跡地遊歩道整備事業	2,576万円
永平寺口駅周辺整備事業	8,961万円
永平寺町防災行政無線(同報系)整備	5,660万円
自主防災組織活動費・資機材整備補助金	350万円
若者定住促進支援事業	342万円
永平寺町PR事業	116万円
地域コミュニティバス運行委託	4,022万円
安心で明るい通学路(LED)普及促進事業	116万円

松岡公園整備事業	3,400万円
急傾斜地崩壊対策事業	1,000万円
水害に強い街づくり事業	1,700万円
地域をつなぐ河川環境づくり推進事業	160万円
福井の伝統的民家普及促進事業補助金	600万円
町道整備・維持補修工事	10,180万円
木造住宅耐震化等促進事業	328万円
町営住宅解体工事	260万円

家計簿でみる町の予算

永平寺さんの収入は、給料が主なものですが、近年の経済情勢を反映して、基本給(町税)のアップは厳しいものとなっています。一方、会社(国)の方針で家計(地方財政)の財源は昨年同様に確保されていますが、政策の見直し等により、諸手当(地方交付税)は昨年度より若干少なくなっています。また、年間支出843万円を賄うため、貯金の取り崩しや金融機関からの借入も行っています。

支出の主なものは、小学校から中学校まですべての学校給食費の無償化事業、子ども医療費助成事業、商店・まちなか元気UP事業、災害に強いまちづくりのための、消防庁舎統合事業、本庁舎耐震補強事業、行政防災無線整備事業など「健康・元気づくり支援」「未来の子ども応援事業」「にぎわいのある活力豊かなまちづくり」「地域防災力の強化」の推進のための費用を確保するなど、住みやすさを実感でき、生活の質が向上するよう工夫しています。

景気低迷が続く中、基本給が伸び悩むことが予想されるほか、今後の会社(国)の方針で、諸手当が減っていくことも考えられるため、給料が増加することは見込めませんが、さらに支出を工夫し、経費を節約し、家族にやさしい、より質の高い生活を目指していきたいと考えています。

平成25年度当初予算

における新規事業及び主要事業の概要

新規事業 51事業 拡充事業 17事業

3地区の均衡ある発展とすべての皆さんが等しく様々な行政サービスを受けられる町の実現を目指して、事業を実施して行きます。ここでは、永平寺町総合振興計画の基本目標に沿って、その施策についての事業や取り組みを紹介します。（**新**は新規事業、**拡充**は昨年の事業を更に充実させたものです。）

1. 健康で笑顔に満ちたまちづくりをめざして

1) 健康づくりの支援

拡充 健康増進事業 …………… 9,789千円
(健康づくりポイントカード事業)

健康教育、健康相談、訪問指導の実施及び一般健康診査、胸部X線検査等の実施により、生活習慣病の予防を図り、さらに保健計画における「やろっさ行動目標を実践する」を実行するため、参加者がポイントシールを貼付け、健康づくりの実践を推進します。

拡充 町民健康ウォーキング事業 …………… 464千円

手軽に親しめるウォーキングを通して、町民の体力づくりと健康意識の高揚を図り、運動習慣作りのための支援を行い、健康で笑顔に満ちたまちづくりを推進します。

がん検診委託料 …………… 18,121千円

予防接種事業委託料 …………… 40,932千円

地域でつくるみんなの健康づくり推進事業 …………… 1,200千円

妊婦乳児健康診査委託料 …………… 14,756千円

健康増進事業 …………… 9,789千円

母子保健事業 …………… 2,368千円



健康ウォーキング

2) 子育て・少子化対策の推進

新 未熟児養育医療給付事業 …………… 3,004千円

養育のため入院を必要とする1歳に満たない未熟児に対し、指定養育医療機関において入院にかかる医療費の給付を行います。

新 上志比幼稚園屋上防水工事 …………… 2,834千円

園舎屋上が経年劣化しており、園児が衛生的で快適に過ごせるよう、屋上防水工事を行うものです。

新 なかよし幼稚園手洗い場新設工事 …………… 904千円

現在、遊戯室に手洗い場が設置されていないので、園児が衛生的な保育が受けられるよう、遊戯室内に手洗い場を設置するものです。

新 松岡西幼稚園屋上タイル補修工事 …………… 877千円

園舎屋上のタイルが経年劣化により剥離しており、園児の安全確保のため改修工事を行うものです。

児童手当支給事業 …………… 331,140千円

子どもの医療費助成事業(中学校修了まで)… 63,630千円

えいへいじ子育て応援の日設定事業 …………… 1,239千円

放課後児童クラブ事業 …………… 14,662千円

待機児童のない対策として

嘱託保育士・調理員等の賃金 …………… 144,967千円

児童館運営事業 …………… 14,923千円

子育て支援センター事業 …………… 8,125千円

母子父子家庭等医療費助成事業 …………… 7,380千円

出産祝い金支給事業 …………… 5,400千円

幼稚園・幼稚園図書整備事業 …………… 400千円

夜間・短期入所保育事業 …………… 75千円



子育て研修会



児童館合同運動会

3) 高齢者福祉の充実

新 地域福祉計画策定業務委託 …………… 2,966千円

社会福祉法に基づき、町民とともに支え合い、助け合うという意識の形成、その仕組みやネットワーク、行政、事業者、町民の役割や取り組みについて基本的な計画を策定します。

拡充 配食サービス事業委託 …………… 6,583千円

一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯宅へ民生委員が安否確認を兼ねて、栄養バランスのとれた食事を提供するため、松岡地区及び永平寺地区の実施回数を週2回に拡大します。

拡充 老人福祉センター指定管理委託事業 …… 18,572千円

老人福祉センター「永寿苑」の施設の管理について、永平寺町社会福祉協議会に指定管理するものです。永平寺南地区から永寿苑無料送迎の他に、同送迎ワゴン車を利用し、翠荘⇄永寿苑⇄温泉施設の運行により、施設利用者の利便を図ります。

町社会福祉協議会活動補助金 ……	45,894千円
在宅福祉事業委託 ……	44,430千円
（外出支援サービス事業委託 ……	18,814千円）
（すこやか介護用品支給事業委託 ……	13,485千円）
（在宅介護支援センター事業委託 ……	7,539千円）
（地域ふれあいサロン事業委託 ……	2,827千円）
（寝具洗濯サービス事業委託 ……	848千円）
（軽度生活援助事業委託 ……	360千円）
（緊急時情報カード設置普及事業委託 ……	557千円）
老人福祉施設入所者措置事業 ……	25,267千円
シルバー人材センター助成事業 ……	15,628千円
老人クラブ運営事業 ……	3,039千円
敬老会運営事業 ……	2,601千円
在宅介護慰労金助成事業 ……	1,500千円



永寿園



敬老会

4) 障害者（児）福祉の充実

新 自立支援育成医療給付事業 …… 1,705千円

18歳に達するまでの、身体に障害のある児童、知的障害のある児童又は精神に障害のある児童に対し、その身体障害を除去、軽減する手術等の治療によって、生活能力をえるために必要な自立支援医療費を給付します。

介護給付費 ……	347,655千円
重度障害者（児）医療費助成事業 ……	87,600千円
障害者自立支援特別対策事業 ……	625千円
補装具等支給事業 ……	7,744千円
支え合い元気で通学支援事業 ……	5,028千円

自立支援医療（更生医療）事業	8,820千円
地域活動支援センター事業	2,849千円
障害者日中一時支援事業	5,220千円
心身障害者通所交通費助成事業	180千円
地域自殺対策緊急強化事業	371千円
障害者日常生活用具給付事業	4,905千円
福祉タクシー利用助成事業	1,361千円

5) 安心の社会保障

介護保険特別会計繰出金	243,948千円
後期高齢者広域連合負担金	228,135千円
国民健康保険事業特別会計繰出金	54,862千円
後期高齢者医療特別会計繰出金	46,726千円

2. 健やかに育ち、心豊かな人づくりをめざして

1) 学校教育の充実

新 学校給食無償化事業 88,000千円

子育て世代が抱える経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図ることで、少子化対策、定住促進につながるように、小学校から中学校まで学校給食費を無償とするものです。



学校給食

新 松岡中学校第2体育館（武道場） 測量・地質調査・実施設計業務委託 14,768千円

松岡中学校第2体育館（武道場）建設のため、測量・地質調査および実施設計業務を委託するものです。

新 緊急地震速報装置設置事業 2,170千円

地震をいち早く知らせ、児童を早期に避難させ、安全を確保するため、小学校7校に緊急地震速報装置を設置するものです。

新 校舎大規模改造事業 11,813千円

学校環境の整備を図るため、松岡小学校の屋内運動場と連結する校舎の改造を行うものです。

新 永平寺中学校校舎改修等工事 …………… 12,609千円

老朽化に伴い、永平寺中学校プールの解体工事を行うものです。

新 登校支援員配置事業 …………… 2,192千円

不登校解消のため、松岡中学校・永平寺中学校に各々1名ずつ登校支援員を配置するものです。

新 松岡中学校駐輪場増設工事 …………… 2,121千円

自転車通学の生徒が増加したことにより、すべての自転車が駐輪できないため、増設工事をするものです。



松岡中学校駐輪場

新 上志比小学校トイレ改修工事設計業務委託 …… 1,145千円

老朽化した上志比小学校のトイレの改修を行うため、工事設計を委託するものです。

新 みんなの学校さわやか交流事業 …………… 700千円

小学校の児童数の枠を超えた学校間の交流を行い、児童の誰もが集団活動の重要性を認識してもらうものです。

豊かな体験活動推進事業 …………… 5,417千円

特別支援教育支援員配置事業 …………… 32,694千円

中学生海外派遣事業 …………… 4,000千円

芸術ふれあい教室事業 …………… 1,141千円

新たな誓い立志のつどい事業 …………… 487千円

遠距離通学奨励、就学援助、
特別支援教育就学奨励費 …………… 9,177千円

小学校複式学級解消事業 …………… 5,599千円

学校図書充実 …………… 3,179千円

学校元気創造事業 …………… 4,301千円

中学校部活動補助 …………… 2,765千円

「確かな学力」の育成支援事業 …………… 3,300千円

小学校英語教育推進事業 …………… 860千円

みんなで作る楽しい学校農園事業 …………… 650千円



文化芸術鑑賞



学校農園事業

2) 学校・家庭・地域の連携

浄法寺山青少年旅行村管理事業 …………… 4,863千円

吉峰寺キャンプ場管理事業 …………… 869千円

3) 生涯学習の推進

拡充 図書館図書購入費 …………… 7,540千円

子どもや大人がより多くの「本」と出会い、まちの読書人口がさらに拡大するよう、蔵書資料の収集整備及び生涯学習環境の整備を図ります。

公民館運営諸経費 …………… 6,624千円



町立図書館

4) 生涯スポーツの振興

新 松岡庭球場宅内排水施設改修工事 …………… 2,300千円

松岡庭球場の宅内排水施設（下水）が、勾配不良により不具合が生じているため、施設の改修工事を行うものです。

拡充 夏季プール開放監視委託 …………… 2,468千円

プール施設内における事故の発生を未然に防止するため、プール監視業務を行っている警備業者と委託契約を締結し運営を行うものです。

町体育協会・地区体育祭助成 …………… 5,099千円

スポーツ少年団助成事業 …………… 1,311千円



スポーツ少年団結団式

5) 地域文化の振興

拡充 松岡公園整備事業 …………… 34,000千円

福寿園跡地の活用や古墳公園の整備等と併せて、「桜の名所」としての復活や多くの町民が「自然と親しむことのできる憩いの空間」として整備するなど、地域の特色を活かしたイメージアップを図ります。

古墳群整備に伴う嘱託職員賃金 …………… 4,183千円

古墳等草刈伐採業務委託 …………… 961千円

文化芸術振興事業 …………… 1,000千円

3. 安心して暮らせるまちづくりをめざして

1) 防災体制の強化

新 自主防災組織連絡協議会活動費・
資機材整備金補助金 …………… 5,120千円

各自主防災組織との連携によるネットワークを図り、自助共助の防災意識を高め自主的な防災活動を推進し、地域防災力の強化を図ることを目的とする自主防災組織連絡協議会を対象に、活動費・防災資機材購入費を補助するものです。

新 本庁舎耐震補強工事 …………… 50,476千円

災害活動の防災拠点に指定されている本庁舎の耐震補強工事を行うことで、防災に強い町づくりを推進します。



役場本庁舎

新 本庁舎耐震補強関連工事 …………… 12,604千円

本庁舎の耐震工事に併せて、老朽化した空調施設の更新及びエレベータを新設し、庁舎環境の改善を図ります。

新 本庁舎耐震補強工事監理業務委託 …………… 2,100千円

本庁舎耐震補強工事の適切な施工監理によって工事の品質確保を図るため、工事監理業務を委託します。

新 開発センター耐震補強工事等実施設計業務委託 …… 5,505千円

防災拠点の一つに指定されている開発センターについて、耐震補強工事の実施設計を行い、防災に強い町づくりを推進します。



開発センター

新 永平寺支所耐震補強工事等実施設計業務委託 …… 3,691千円

防災拠点の一つに指定されている永平寺支所庁舎について、耐震補強工事の実施設計を行い、防災に強い町づくりを推進します。

新 緊急地震速報装置整備事業 …………… 3,100千円

地震の大きさと到達時間を知ることで、適切な避難を行い、園児の安全を確保できる機器の整備を行います。

新 ポータブルテレビ整備 …………… 735千円

避難後においても正確な情報を得ることで、その後の対応が適切に実施できるよう機器の整備を行います。

新 急傾斜地崩壊対策事業 …………… 10,000千円

急傾斜地崩壊危険区域内において、集中豪雨等で地盤が緩み発生する「がけ崩れ」を未然に防止し、住民の生命・財産を守り安全な生活環境の向上を図ります。



急傾斜地崩壊対策

新 砂防事業 …………… 5,000千円

近年、記録的な集中豪雨等が多発している中、土石流や増水による二次災害を未然に防ぎ、災害から住民の生命や財産を守り、安全な生活環境の向上を図ります。

拡充 自主防災組織活動費・資機材整備金補助金 … 3,500千円

町内の各自主防災組織を対象に、活動費・資機材購入費に対して補助するものです。

拡充 自治会管理防犯灯設置補助事業 …………… 3,000千円

町内自治会が設置する防犯灯設置経費に対して経費の一部を補助するものです。

拡充 農村災害対策整備事業 …………… 9,600千円

人家や公共施設等への災害の二次被害を防止するため、変形した堤体、構造上不安定なため池を改良する工事（県営災害対策事業）を行うものです。

拡充 水害に強い町づくり事業 …………… 17,000千円

集中豪雨等による河川等の増水で浸水被害は発生する箇所において、年次計画を立て、護岸の嵩上げや擁壁工事等を施工することにより、被害を最小限に抑え水害に強い町づくりを目指します。

永平寺町防災行政無線(同報系)整備 …………… 56,595千円

防災対策支援事業 …………… 1,890千円

県防災ヘリ運行連絡協議会負担金 …………… 1,699千円

非常用備蓄品 …………… 800千円

町内一円水路改修等工事 …………… 800千円

防災訓練事業 …………… 290千円

2) 消防・救急体制の整備

新 消防救急デジタル無線・
高機能消防指令センター総合整備事業 … 10,160千円

平成28年6月からの消防救急無線のデジタル化移行に合わせ、高機能指令センターと一体化して整備するための調査設計を行うものです。

新 消防庁舎統合整備実施設計業務委託 …………… 19,662千円

住民が安心して暮らせるまちづくりを目指し消防の一元化を図るため、開発センターを活用し、消防庁舎を増築統合するため、平成25年度に庁舎の実設計を行うものです。



消防庁舎

新 消防団車庫統合整備事業 …………… 14,988千円

消防団再編計画に基づき、永平寺中地区（第4分団）に複数点在する分団車庫を統合し、新たに花谷地区に耐震性のある消防施設を建築するものです。

特殊災害対応資機材整備 …………… 1,995千円

消防団員報酬 …………… 7,120千円

集落消防施設整備補助金 …………… 349千円

住民とともに創る安全のまちづくり事業 …… 1,364千円



消防団一斉放水

3) 交通安全対策の推進

交通安全施設整備（工事及び修繕） …………… 3,000千円

交通指導員報酬・報償 …………… 2,150千円

4) 防犯体制の強化

安心で明るい通学路普及促進事業 …………… 1,155千円

防犯隊報酬・出勤報償 …………… 2,518千円

防犯施設整備補助金 …………… 3,000千円

緊急連絡用携帯メール配信システム配信事業 …… 848千円

子どもを守るみんなの輪事業 …………… 447千円

5) 自然環境保全啓発活動の推進

不法投棄等監視パトロール事業 …………… 453千円

住宅用太陽光発電設備導入事業 …………… 2,160千円

地域をつなぐ河川環境づくり推進事業 …………… 1,600千円

「子どもに夢を」九頭竜鯉のぼり事業 …………… 334千円

環境教育・環境学習推進事業 …………… 223千円



九頭竜鯉のぼり

6) 循環型社会の構築

新 環境基本計画改定事業 …………… 290千円

平成20年3月に策定した永平寺町環境基本計画の中間年にあたり、これまでの施策を点検し、社会情勢の変化に応じた計画にするとともに、本町が進める環境保全の方向を示すことを目的に改定するものです。

広域圏清掃センター負担金 ……………	168,900千円
一般廃棄物収集運搬業務委託 ……………	83,572千円
勝山・永平寺衛生管理組合負担金 ……………	9,428千円
古紙回収等奨励補助金 ……………	3,100千円
環境美化推進地区補助金 ……………	1,860千円
生ごみ処理器補助金 ……………	301千円

4. 快適で利便性の高いまちづくりをめざして

1) 道路網の整備

消雪施設補修工事 ……………	5,300千円
町道整備工事 ……………	61,800千円
町道維持補修工事 ……………	40,000千円
道路除草委託・道路街路樹管理委託 ……………	8,613千円
消雪設備点検清掃委託 ……………	8,216千円
除雪最低保証委託 ……………	3,828千円



消雪設備点検

2) 公共交通体系の整備と利用促進

永平寺口駅周辺整備事業 ……………	89,610千円
コミュニティバス運行委託 ……………	40,218千円
えちぜん鉄道利用促進通学定期券補助事業 ……	6,200千円
えちぜん鉄道支援事業 ……………	40,592千円
コミュニティバス運行南地区補助金 ……………	6,000千円
生活交通路線維持対策事業補助金 ……………	7,589千円



永平寺口駅舎

3) 上水道施設の整備

新 松岡吉野地区配水管敷設替工事
(県道工事関連) …………… 8,818千円

県道稲津松岡線バイパス整備工事に伴い、支障となる配水管を移設する工事です。

新 松岡吉野地区配水管敷設替工事
(中部縦貫自動車道関連) …………… 4,393千円

中部縦貫自動車道の整備工事に伴い、支障となる配水管を移設する工事です。

拡充 松岡上吉野地区配水池建設事業 …………… 47,068千円

松岡湯谷、松岡宮重地区の水道を左岸高区区域の給水区域に統合するため、松岡上吉野地区に配水池を建設し安定・安心した水道水を供給するために詳細設計および工事を施工します。

拡充 左岸1号取水井建設工事詳細設計業務委託 …… 3,560千円

左岸1号取水井の取水能力低下に伴い、住民に安定した水道水を供給するため、現取水井の横に同程度の取水井を建設する工事の詳細設計を委託するものです。

拡充 志比浄水場膜ろ過設備膜取替え工事 …………… 13,125千円

志比浄水場膜ろ過設備の膜が経年により機能低下をしているため更新するものです。

上水道事業負担金 …………… 61,866千円



志比浄水場

4) 下水道施設の整備

新 下水道施設整備工事
(中部縦貫自動車道関連) …………… 18,304千円

中部縦貫自動車道建設に伴って仮移設した松岡地区農業集落排水污水管を、永平寺町が受託して本設化する工事を行い、吉野地区の環境保全と快適な生活環境の維持を図ります。

下水道事業特別会計繰出金 …………… 496,958千円

農業集落排水事業特別会計繰出金 …………… 152,647千円

五領川公共下水道事務組合負担金 …………… 119,749千円

5) 地域情報化推進拠点の形成

新 公開型GIS事業 (地理情報管理システム) …………… 2,730千円

個別に管理していた総合地理情報システム(GIS)について、クラウド型ASPサービスを利用して共有できるシステムへと構築を行うものです。

拡充 情報化推進事業(ホームページ事業) …………… 3,300千円

他システムとの情報連携やシステムの最適化を図るため、町ホームページの再構築を行うものです。

こしの国広域事務組合負担金 …………… 150,673千円

福井坂井地区広域圏事務組合負担金 …………… 92,260千円

庁内ネットワーク事業 …………… 10,425千円

町例規集データベース化事業 …………… 2,911千円

ICカード標準システム事業 …………… 3,314千円

福井県電子システム負担金 …………… 284千円

総合行政ネットワーク事業 …………… 882千円

6) 宅地・住宅の整備

新 永平寺町PR事業 …………… 1,155千円

永平寺町PRコマーシャルを放映し、永平寺町がこれまで行ってきた子育て支援、教育力の向上など、他市町とは特質している政策、町づくり事業を町内外にアピールし、永平寺町への定住促進を推進するものです。

福井の伝統的民家普及促進補助金 …………… 6,000千円

伝統的民家を保存し、地域づくり及び景観づくりの普及促進するため、伝統的民家の外装又は構造体の改修に対してその費用の一部を補助します。

定住促進支援事業 …………… 3,420千円

若者の住宅取得に必要な経費や子育てに係る経費の一部を助成し、永平寺町への定住人口の増加及び地域の活性化を図ります。

町営住宅解体工事 …………… 2,600千円

木造住宅耐震化等促進事業 …………… 3,280千円

7) 計画的な土地利用の推進

都市計画事務 …………… 3,091千円

5. にぎわいのある活力豊かなまちづくりをめざして

1) 商工業の振興

新 東京ビジネスサミット出展事業 …………… 750千円

永平寺町の魅力やブランド力を向上させ、全国に向けて販路を拡大展開させるために、町の知名度アップや商工業の活性化を図ることを目的に、セミナーの参加、商談会への出展・取引開始の調整等の支援を行います。

新 商店・まちなか元気UP事業補助金 …………… 900千円

町内の商業団体が、活性化を図ることを目的に、自らの工夫やアイデアをもとに、町内での集客や消費拡大となる事業（イベント）を行い、賑わいを創出する経費の一部を助成し、企業活動を支援します。

マル経融資制度利子補給事業 …………… 300千円

商工振興関係資金預託事業 …………… 45,000千円

商工振興関係利子補給事業 …………… 14,146千円

勤労者生活安定融資資金貸付金預託事業 …… 20,000千円

商工会運営補助 …………… 10,000千円

労働者福祉厚生対策資金貸付金 …………… 4,000千円

就業者生活安定資金貸付金預託 …………… 2,500千円

チャレンジ企業支援補助金 …………… 1,000千円

2) 農林業・内水面漁業の充実

新 永平寺町農業振興地域整備計画策定事業 …… 4,515千円

旧町村ごとの農業振興地域整備計画を一つに総合し、基礎調査に基づいた今後10年の農用地の保全と高度利用、状況別土地利用と農業振興を図るため、都市計画マスタープランとの整合性を図りながら計画を策定するものです。

新 農地集積化協力金事業 …………… 1,900千円

農業者戸別所得補償制度に加入する農業者が、高齢化等により農業を離農及び土地利用型農業から経営転換し、「人・農地プラン」に位置付けられた地域の中心経営体への農地集積を加速させるため協力を金を交付するものです。

新 中山間地域総合整備事業 …………… 494千円

町内の中山間指定地域の条件不利地において、県営土地改良事業（団体営土地改良事業）で農業生産基盤及び生活環境整備を実施し、農業農村の活性化を図るための事前調査業務です。

新 林道橋点検業務委託 …………… 500千円

老朽化や経年劣化が確認される町内林道橋で、適正な維持・修繕を行い林道通行の安全性が図れるよう点検を行うものです。

新 地産地消推進事業
「おいしいね！永平寺」料理コンテスト …………… 272千円

食育の重要性が問われる中、簡単に料理を作ることができ、地産地消を推進するために、町内外の一般の人を対象に安全・安心な食材を利用した料理コンテストを開催するものです。

拡充 水田農業構造改革補助金 …………… 42,489千円

水田農業の構造改革を推進することを目的に、自給率向上のため水稲作付け以外の水田を利用するように、また、食の安全・安心や環境に配慮した農産物生産の一環としての水稲作付けに取り組む農業者及び営農組織等に補助金を交付するものです。

広葉樹植栽事業補助金 …………… 100千円

分収造林事業委託料 …………… 4,822千円

有害鳥獣対策ネット柵設置補助事業 …………… 6,000千円

有害鳥獣対策事業 …………… 7,127千円

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 …… 14,308千円

レンゲ米（有機）学校給食推進事業 …………… 4,492千円

水田農業構造改革補助金 …………… 42,489千円

中山間地域直接支払制度助成金 …………… 3,671千円

水土里情報利活用促進事業業務委託 …………… 3,000千円

美しい森林景観再生事業委託 …………… 469千円

永平寺農商工ブランド発信協議会助成 …………… 5,687千円

県単土地改良事業 …………… 16,400千円



レンゲソウを利用して作る学校給食

町単土地改良事業	27,288千円
九頭竜川下流地区 地域用水機能増進事業負担金	1,293千円
県単林道整備事業	19,800千円
町単林道整備事業	28,554千円
森林組合業務運営補助金	2,850千円
内水面漁業振興補助金	616千円

3) 観光の振興

新 観光情報発信事業 (首都圏J-A Dビジョンによる情報発信) … 1,389千円

平成26年度に開業する北陸新幹線金沢駅開業により、首都圏から福井へのアクセス時間が大幅に短縮されることから、北陸の知名度が向上されると予想されるため、観光客の誘客のため、首都圏主要駅構内のデジタルサイネージ（映像表示装置）を活用して永平寺町のPRを行います。

新 観光情報発信事業 (北陸・金沢広告掲載) … 643千円

中部縦貫道の整備・舞鶴若狭道の全線開通、北陸新幹線の整備による高速交通体系の進展に伴い、首都圏・関西圏・中部圏から永平寺町へのアクセス時間が大幅に短縮されることから、本町への誘客を目的に、観光情報誌への永平寺町のPR広告を掲載します。

新 永平寺門前周辺まちなみ魅力アップ事業 …… 1,500千円

平成26年度に舞鶴若狭道の全線開通、北陸新幹線の金沢駅開業に伴い、福井県への交通アクセスが改善されることが予想されるため、観光誘客を促進することを目指して、大本山永平寺の門前周辺の魅力を向上を推進します。



門前ポケットパーク

拡充 ふるさと創造プロジェクト事業 …… 6,235千円

旧松岡藩の歴史・伝統・文化に根差した地域固有の活動や地域資源を活用し、住民同士の交流を通して地域の活性化、観光の誘客および地域の魅力を全国に発信するものです。

永平寺線跡地遊歩道整備事業	25,760千円
教育旅行誘致推進事業補助金	600千円
地域資源活用事業	2,984千円
観光物産協会運営補助金	2,620千円



松岡公園整備

永平寺線跡地利用事業	1,515千円
大学生・父母との情報発信・交流事業	558千円
永平寺ふるさと大使事業	578千円
輝く永平寺町魅力体験事業	412千円



旧永平寺線跡地ウォーキング

6. 思いやり、ともに生きる地域をめざして

1) 地域交流活動の推進、イベントの充実

九頭竜フェスティバル実行委員会補助金	7,500千円
若者出会い交流事業	550千円

2) まちづくりにおける町民参加の推進

わが町夢プラン事業	600千円
希望の ^ま ち ^ち 永平寺創造委員会	428千円

3) 男女共同参画社会の推進

新 男女がともに生きる地域づくりセミナー …… 175千円

男女共同参画社会の実現を目的に、町民対象の講座や学習会の実施および町内の自治会、学校、PTA、保護者会等の各種団体で実施する研修などの費用を補助するものです。

男女共同参画事業	273千円
人権擁護事業	546千円
輝く女性永平寺会議事業	51千円



男の料理教室

4) 国際性豊かな人づくり

中学生海外派遣事業（再掲）	4,000千円
---------------	---------

7. 計画の推進に向けて

1) 町民と行政の協働によるまちづくり

広報作成事業	3,332千円
「気軽に散策・えいへいじ巡り」事業	155千円



精進料理体験

2) 行政運営の充実

新 福井県電子入札システム共同利用 2,807千円

入札の透明性の確保、競争性の向上、コスト縮減、入札事務の効率化を図るため、平成26年度から県電子入札システムを共同利用するために、電子システム導入準備を行います。

新 戸籍副本データ管理システム構築 1,523千円

大規模かつ広範囲な災害で、戸籍データの正本（町）と副本（法務局）が同時に滅失することを防ぐため、戸籍副本データ管理システムを改修・構築するものです。

新 永平寺支所キュービクル （高圧変動設備）新設工事 15,500千円

旧永平寺消防分署を取り壊すにあたり、屋上のキュービクル（永平寺支所用電源）の移設が必要となるため、開発センター裏側にキュービクルを新設するものです。

新 永平寺支所2階改修工事 1,200千円

平成26年度に開発センター2階を消防署として改築することから、会議室等が不足するため代替として永平寺支所2階に部屋を増設するために改修工事を行うものです。

新 町内会・自治会ガイドブック作成 0千円（予算計上を伴わない事業）

住民を対象とする町のサービス内容や、各町内会に対する支援（補助）制度、役員（種類・任期・概要）、日頃の地域活動で直面すると思われる対応策や担当課を掲載したガイドブックを民間業者の協力を得て作成します。

職員研修事業	933千円
--------	-------

3) 財政の健全化

納税組合納税奨励金	4,845千円
臨時徴税員賃金	1,500千円